レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和3年9月22日	使用開始日			
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西　宗治	化学療法委員会承認年	年　月
レジメン名	【分割】キイトルーダ+nab-PTX②				
疾患名	乳がん	適応の備考	PD-L1陽性（CPS≧10）のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌		
適応分類	進行再発				
1コース日数	分割レジメン 21日間（1コース84日間）	総コース数	コース	催吐性リスク	軽度（KEYNOTE-355試験：悪心 30.8%、嘔吐 16.9%）
抗がん剤投与量・投与日	キイトルーダ200mg/body　day1　アブラキサン100mg/㎡　day8、15				

治療スケジュール　・　投 与 日 程（ 投 与 日 は ● ）　　(day)

投与順	ルート・方法	薬　剤　名	投　与　量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
			/																						
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	キイトルーダ	200 mg / body	30 分	●																				
			/																						
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●							●						
	点滴静注		/																						
			/																						
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body									●							●						
	点滴静注	アブラキサン注	100 mg / ㎡	30 分								●							●						
			/																						
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●							●						
	点滴静注		/																						
			/																						

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

キイトルーダ+nab-PTXの分割レジメン：①～④の全84日間を1コースとする。キイトルーダは200mgを3週に1回投与、アブラキサンは3投1休

キイトルーダ：０．２～５μｍのインラインフィルターを使用して投与する。

キイトルーダ：希釈後の最終濃度を1～10mg/mLとする。

キイトルーダ：Infusion reaction経験例では次回より投与前1.5時間（±30分）に以下の薬剤で前処置を行う。

・レスタミン5錠経口投与（又は同等の抗ヒスタミン薬）

・アセトアミノフェン500～1,000mg経口投与（又は同等の解熱剤）

アブラキサン：1Vあたり生食20mLで溶解する。調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に空にした点滴バッグの中に入れる。（懸濁液を生食で希釈しない。）

アブラキサン：インラインフィルターは使用しないこと。血液製剤の同意書と伝票が必要。

アブラキサン：アブラキサンの後は生食５０mLでフラッシュする。

アブラキサン：他剤との配合、または同じ静注ラインで同時注入しない。